

華やかなアスリートは浅田真央、羽生結弦、本郷理華、宮原知子、ダルビッシュ有。 ～第 33 回 アスリートイメージ評価調査 2016 年 3 月調査より～

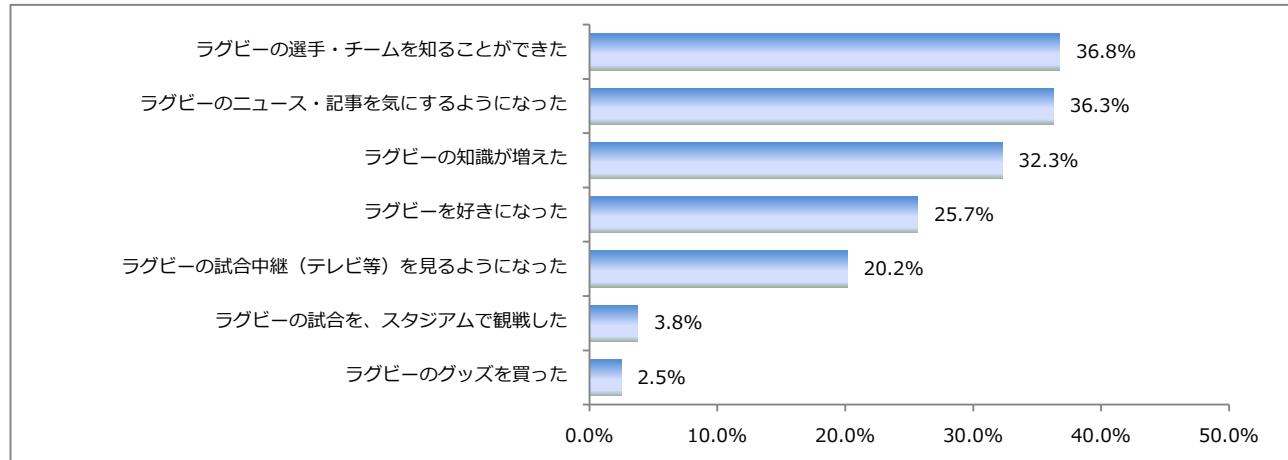
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都港区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2016 年 3 月調査を行いました。

■ 調査結果 ■

アスリートイメージ評価項目「華やかな」アスリート 1 位は浅田真央(フィギュアスケート)で、以下、羽生結弦(フィギュアスケート)、本郷理華(フィギュアスケート)、宮原知子(フィギュアスケート)、ダルビッシュ有(野球)となり、上位 5 選手中 4 人をフィギュアスケート選手が占めました。また、「勢いを感じる」アスリート 1 位は五郎丸歩(ラグビー)で、以下、錦織圭(テニス)、大谷翔平(野球)、オコエ瑠偉(野球)、羽生結弦(フィギュアスケート)となりました。「生き方や発言に共感できる」アスリートは 1 位イチロー(野球)、2 位はノルディックスкиージャンプのワールドカップ(W 杯)通算 500 試合出場を達成した葛西紀明がランクインしました。以下、羽生結弦(フィギュアスケート)、長谷部誠(サッカー)、本田圭佑(サッカー)となりました。

また、ラグビーワールドカップ 2015 をきっかけとしたラグビーに対する意識変化についての質問(N=600 人)では、「ラグビーの選手・チームを知ることができた」が 36.8%となるなど、「ラグビー」に対する生活者の興味・関心に変化が見られました。

◆ ラグビーワールドカップ 2015 による意識変化 ◆



この調査は CM キャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、調査対象としたアスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した 29 項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室

データドリブンメディアマーケティングセンター

山崎・三石

03-6441-9347

武方・市川

03-6441-9772

■ アスリートイメージ総合ランキング

1位:イチロー(野球) 2位:羽生結弦(フィギュアスケート) 3位:錦織圭(テニス) 4位:浅田真央(フィギュアスケート)
5位:五郎丸歩(ラグビー) 6位:葛西紀明(スキージャンプ) 7位:吉田沙保里(レスリング) 8位:本田圭佑(サッカー)
9位:高梨沙羅(スキージャンプ) 10位:大谷翔平(野球)

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング

・「華やかな」アスリート

1位:浅田真央(フィギュアスケート) 2位:羽生結弦(フィギュアスケート)
3位:本郷理華(フィギュアスケート) 4位:宮原知子(フィギュアスケート)
5位:ダルビッシュ有(野球)

・「誠実な」アスリート

1位:長谷部誠(サッカー) 2位:葛西紀明(スキージャンプ)
3位:五郎丸歩(ラグビー) 4位:羽生結弦(フィギュアスケート)
5位:琴糸菊(大相撲)

・「勢いを感じる」アスリート

1位:五郎丸歩(ラグビー) 2位:錦織圭(テニス)
3位:大谷翔平(野球) 4位:オコエ瑠偉(野球)
5位:羽生結弦(フィギュアスケート)

・「明るい」アスリート

1位:アレックス・ラミレス(野球) 2位:吉田沙保里(レスリング)
3位:福士加代子(マラソン) 4位:オコエ瑠偉(野球)
5位:川澄奈穂美(サッカー)

・「生き方や発言に共感できる」アスリート

1位:イチロー(野球) 2位:葛西紀明(スキージャンプ)
3位:羽生結弦(フィギュアスケート) 3位:長谷部誠(サッカー)
5位:本田圭佑(サッカー)

・「リーダーシップがある」アスリート

1位:手倉森誠(サッカー) 2位:長谷部誠(サッカー)
3位:金本知憲(野球) 4位:小久保裕紀(野球)
5位:宮間あや(サッカー)

・「純粋な」アスリート

1位:浅田真央(フィギュアスケート) 2位:高梨沙羅(スキージャンプ)
3位:宇野昌磨(フィギュアスケート) 4位:オコエ瑠偉(野球)
5位:宮原知子(フィギュアスケート)

■ 調査概要 ■

・調査方法:Web 調査

・調査地区:首都圏+京阪神圏

(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)

・調査対象者:対象エリアに在住の 15~69 歳の男女

・有効回収サンプル数:600 サンプル

・調査期間:2016 年 3 月 3 日~3 月 8 日